

時間割コード	G2B40801	開講年度	2026				
授業題目	現代教育を考える				担当教員	島田 英昭 他	
英文授業名	Introduction to Education					水口 崇	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生	全
講義室	東洋計器講義室（20番講義室）		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				現代の教育における問題点を理解し、自ら情報を収集し、解決策を提案することができる力を身につける。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	教育学とその周辺学問分野における現代的なトピックを取り上げ、解説する。						
(5)授業のキーワード	教育実践科学、発達・教育心理、異文化間教育、ICT活用教育、心理支援教育						
(6)授業計画	第1回：ガイダンス・受講者調整、学びの心理学（島田） 第2回：学びとキャリア形成（安達） 第3回：教育哲学からのアプローチ（高柳） 第4回：メディア・リテラシー教育と批判的思考（佐藤） 第5回：発達障害と教育（高橋知音） 第6回：発達心理学と教育（水口） 第7回：新たな時代を生きる資質・能力（森下） 第8回：子どもの心の理解と支援（茅野） 第9回：入試の心理学（島田） 第10回：外国籍児童生徒に対する教育（徳井） 第11回：行動を変える手法（高橋史） 第12回：学校って何だろう？（越智） 第13回：学習への動機づけ（三和） 第14回：乳幼児期の言語発達（水口） 第15回：医療と学校の連携（向井） 講義の順序は講師の都合に合わせて調整する。 授業テーマは受講生の興味関心および講師の裁量によって変更する。 授業アンケートを実施する。						
(7)成績評価の方法	毎回の授業で提示する課題（100%） 評価割合は若干の調整を行うことがある。 現代教育に関する基礎的・応用的な知識や関心を評価する。 ●得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。						
(8)成績評価の基準	【卓越している】現代の教育における問題点を理解し、自ら情報を収集し、解決策を提案することができる力を総合して、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】現代の教育における問題点を理解し、自ら情報を収集し、解決策を提案することができる力を総合して、非常に高い水準にある。 【やや上にある】現代の教育における問題点を理解し、自ら情報を収集し、解決策を提案することができる力を総合して、高い水準にある。 【その水準にある】現代の教育における問題点を理解し、自ら情報を収集し、解決策を提案することができる力を総合して、一定水準にある。						
(9)事前事後学習の内容	●毎回の授業で提示された課題に取り組む。 ●講義に関連する語句について、書籍やネットなどで復習し、理解を深める。 ●この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	●eALPSを常時利用する。 ●毎回の課題により成績評価を行うので、単位取得のために、締切までに課題を提出すること。						
(11)質問、相談への対応	授業全体についての質問は島田英昭（hshimada@shinshu-u.ac.jp）、各回の授業内容についての質問は各回の担当講師にメールで連絡する。						
(12)授業への出席	履修する全ての回に出席することを基本とする。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	eALPSにおいて欠席回のテーマ・資料等を見て自習する。						
【教科書】	指定しない。資料を配付する。						
【参考書】	指定しない。資料を配付する。						